

大学組織・人事シリーズ第3回

大学経営のための マネジメントによる組織・人事改革の実際

日時 東京平成15年10月16日(木)13:30~17:00	大阪平成15年10月31日(金)13:30~17:00
会場 アルカディア市ヶ谷(私学会館)	会場 日本総研大阪本社第2ビル
対象 大学理事長・事務局長の方々	
講師 研究事業本部人事戦略クラスター(東京)	主任研究員 赤堀新一
研究事業本部人事戦略クラスター(大阪)	主任研究員 久保田智之
(* 両会場とも同一内容となります。)	研究員 下垣内智

参加のすすめ

大学改革は民間組織にみられるドラスチックな施策が不向きである反面、問題の先送り・棚上げは許されず中期的観点からの確実な行動計画の推進が急務と考えられます。

大学改革における理事会・職員組織の役割・機能強化を前提としたマネジメント・コントロールのあり方について、組織構造・意思決定モデルや人事システムとの関係を含めたすすめ方の解説を行うものとします。

なお、セミナーの最後に質疑応答の時間を設定させていただきます。

セミナープログラム(主な内容)

1. 独法化後の大学経営の方向性

トップマネジメントによる経営システムの再構築

2. 日本総研が考える大学経営の課題

- (1) 教員の活性化、職員の戦力化
- (2) 人件費の適正化
- (3) 教員評価制度の導入

3. 大学経営におけるマネジメント・コントロールと

意思決定の仕組み

- (1) 問題の定義・顕在化と構造化
- (2) 論点の相互確認
- (3) マネジメント・コントロールによる改革手順と方法
 - ① マネジメント・コントロールとは
 - ② 理事会における意思決定の基本フロー
(対立案件の検討・決定フロー)
 - ③ 組織編成
 - ④ 要員構成と役割分担

⑤ 仮説・実験・検証の仕組みづくり

⑥ 運用の留意点

4. 日本総研が提案する改革アプローチの方法

『教職員組織の活性化と人件費適正化の両立』

- (1) 職員組織におけるマトリックス機能の具備
- (2) 目標申告・面接制度の導入
- (3) 職員の資格等級基準・役割基準の整備
- (4) 教員の授業評価基盤の整備
- (5) 賃金・人事処遇制度の基本設計
 - ① 良質人材の確保と総額人件費管理
 - ② 流動化時代における職務の市場価値
 - ③ 年功に替わる職務賃金カーブの設定
 - ④ 昇給のあり方
 - ⑤ 賞与の位置づけと配分方法
 - ⑥ 契約型・年俸型人材の評価と運用
- (6) 教員・職員のマネジメント研修の方法